

家畜の日射病・熱射病の発生について

石狩管内の被害事例 (いずれも令和5年7月の発生)

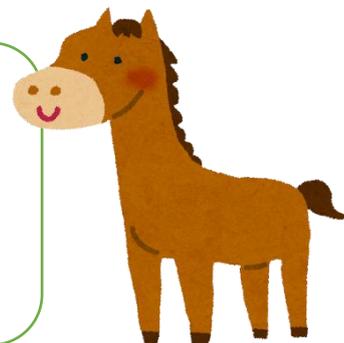
<採卵鶏飼養農場 1戸約2,000羽(死亡)>

発生状況等：外気温が30℃を超える日が続き、鶏舎内温度が33℃以上となり、高温高湿による過呼吸状態に陥り死亡。



<馬飼養農場 1戸1頭(回復)>

発生状況：労役に資する重種馬が、軽度の日射病を発症。疲労及びパドックに十分な日陰がなかったことも一因と推察。



◆ 8月前半についても、高温が続く見込みです。

◆ 飼槽・水槽を清潔にし、新鮮な水と良質な飼料を与えましょう



◆ 高温時は、発汗などに伴いカリウム、ナトリウム、マグネシウムなどの要求量が増えます

→ 塩やミネラルを1～2割程度、増給するとともに、ビタミン(A, Eなど)も補給しましょう

◆ 暑熱対策により、免疫機能の低下を防ぎ、サルモネラ症などの発生予防につなげましょう